

期間 約定日 受渡日

2026/05/18 から 2026/05/18

今日 今週 今月 今年

照会

商品	実現損益(税引前)	利益金額	損失金額
国内株式(信用) >	-2,010円	22,990円	-25,000円
合計	-2,010円	22,990円	-25,000円

2026.5.18 地合い



①、②箇所が体感2秒程損切が遅れて、5~10ティック損切幅が大きくなった。これはやりすぎだから、もう少しまてば自分が思った通りに株価が動くとか自分の感情で決めた損切位置をずらすと天井or底で切られる。損切ラインに設定したところが、損切が溜まる場所で損切が重なり値が動く。その損切を利用して利確をする人の気持ちを考える。たまに助かる時もあるかもしれないが、トータルで負ける。大分決めた位置で損切できるようになったが、まだ甘えて少し迷うときがある。

③、④箇所は寄り付き付近の取引。両箇所とも、売り目線でいた。指数と他銘柄も弱かったためそのバイアスがかかっていた。事実を見て完全に上を目指す動きをしていたのだから、せめて③箇所が終わった④箇所では買い目線にするべきだった。3回連続で負けたら、自分の目線が間違っている可能性が高いため、一度取引を中断して板の動きを見る。買いと売りどちらが優勢か、指数が弱いのに個別が強いということは、個別が相当強いと判断して目線を相場に合わせる。

目線が違ったら、瞬間的な値動きは逆に働くとエントリーするところが全く違うから取れるわけない。

今日は①と②で損切幅を大きくしたところと、④箇所目線転換できなかったところが反省点。

また、瞬間的な値動きを狙っているときは、確信・根拠が無い時に利益を伸ばそうとすると損切になる。

今日もそれがあった。スキャと決めたら、すぐ利確する。

後半は、瞬間的な値動きが少なすぎて利確が微益になりすぎた。キオクシアのS高張り付きで大口の資金拘束が発生しボラが少なくなっていたと考える。明らかにいつもより値動きが悪かった。それでも、取り返そうとせず熱くならなかったから良かった。売り・買い目線を合わすことができたなら大きくは負けはないはずだから、決めた位置で損切して損失を恐れず自分なりの期